

サク塗装株式会社

Pick Up!

平成30年度

■事業計画名

遠赤外線カメラ搭載ドローンと独自診断
ノウハウを活用した建物外壁診断方式の確
立

■概 要

ドローンに遠赤外線カメラ（サーモグラフィ）
を搭載し30m～50m位までの建物の外壁温度を
測定し、当社の1級建築士及び外壁診断士にて
お客様に第1スクリーニング（提案）することで
他社との差別化を図る。

■分 類

<対象類型> 革新的サービス

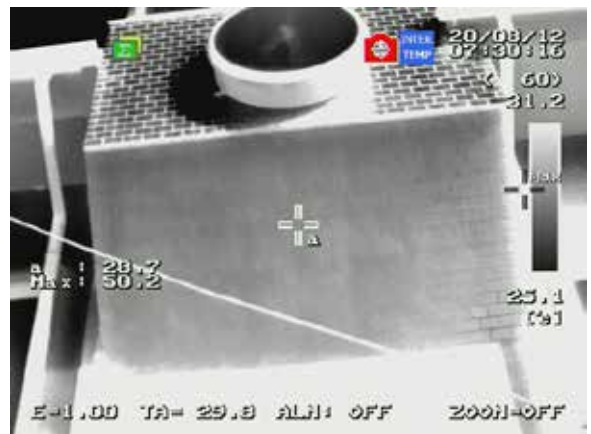
<事業類型> 小規模型
設備投資のみ

■成 果

従来、建物外壁診断は仮設組立・全面打診・
工事箇所の図面化等で時間とコストが掛かった
が、サーモグラフィカメラ搭載のドローンで診
断することで、経費の削減及び他社との差別化
を図ることができた。



外壁タイルの浮きや剥離の調査事例（調査対象）



外壁タイルの浮きや剥離の調査事例（サーモグラフィ画像）



ドローンによる太陽光パネル調査

建築塗装を中心に事業多角化し、創業100年。
長野県初の建物外壁診断サービスで新市場開拓を目指す。

建築塗装を中心に多角化展開



塗装工事例

建物を取り巻く環境や経年変化によって外壁や屋根の劣化が進むと、見栄えが悪くなったり、雨が浸入するなどの不具合が生じます。そのために欠かせないのが外壁・屋根の塗装など定期的なメンテナンスです。

サク塗装は1920（大正9）年、「酒井ペンキ店」として佐久市に創業。建築塗装を中心に事業展開する地域密着型企业として、2020年、創業100周年を迎えました。

大手ゼネコン、行政等からの受注を中心とする建築塗装にとどまらず、土木工事、一般建築工事と事業を多角化。さらに耐震補強工事を含めたトータルリフォーム事業も新たに展開しています。

同社の強みは、一級建築士、一級建築施工管理技士、一級土木施工管理技士など有資格者が多く、しかも社員平均年齢43歳と業界でも若い人材が活躍していること。それが新規事業を含めた事業多角化をけん引しています。

もっとも、県内塗装業界は東信エリアだけで約80社と多く、その大半が従業員数2～3人の小規模事業者。同社は「単価的に勝ち目がなく、営業力的にも不利」という状況を強いられています。東信エリアに高階層マンションや商業ビルは150棟ほどあるといわれ、そのような大型物件をいかに受注していくか。それが同社にとっての営業課題となっています。

ドローンと遠赤外線カメラで外壁診断



テストハンマー調査

従来、建物の外壁診断は、建物全面に足場を組み、テストハンマーで打診し、浮きやクラックがないか調査、それをもとに図面化し、施工方法と

見積もりを提出するという流れ。例えば5階建・25室のマンションの場合、それだけで総費用は約1,300万円、29日の期間が必要です。しかし明らかに問題が発生しているなどの場合以外、これだけの費用をかけて調査を依頼する顧客はいません。

いかに外壁診断の費用と作業時間を削減し、顧客に気軽に外壁診断を受けてもらい、施工受注に結びつけるか。

同社はこのテーマに取り組み、平成30年度補正ものづくり補助金を活用。ドローンに搭載した遠赤外線カメラ（サーモグラフィカメラ）で外壁温度を測定し、同社の一級建築士と外壁診断士が診断を行い顧客に提案する、長野県初の建物外壁診断サービスを確立しました。これにより診断費用を99.9%カットし、かかる期間も数日に短縮。同業他社との圧倒的な差別化を図りました。



ドローンによる外壁調査



遠赤外線カメラ搭載ドローン

PR。さらに太陽光発電パネル劣化などの調査・診断サービスとして、太陽光発電事業者にアプローチするなど、新たな市場の開拓も目指しています。



サク塗装株式会社

代表 代表取締役社長 酒井 辰哉
創業 1920（大正9）年
資本金 3,000万円
従業員数 6名
本社 佐久市長土呂793-20



TEL.0267-68-0734 FAX.0267-68-4888

事業内容 建築・土木・塗装全般

<http://www.sakutosou.co.jp>